

2017.10.04

fun pun clock (フンパンクロック) / designed by Yoko Dobashi

fun pun clock が「2017年度 グッドデザイン賞」を受賞

各位

いつもお世話になっております。

タカタレムノスの菊地です。

この度、株式会社タカタレムノスの fun pun clock (土橋陽子氏デザイン) が、
2017年度グッドデザイン賞 (主催: 公益財団法人日本デザイン振興会) を受賞しました。

fun pun clock は、母親の視点で、時計に興味を持った幼児が読みたくなる仕掛けを
ほどこしたアナログ時計です。開発者の想いと努力により確実な成果を上げている
教育効果の高いデザインとして、高く評価されました。当社では今回の受賞を契機に、
fun pun clock の販売拡大を図るとともに、ものづくりにおけるデザインの活用を
積極的に推進し、ブランドイメージの向上に努めてまいります。

是非、ご注目をいただきますようご案内いたします。



GOOD DESIGN AWARD 2017



fun pun
clock®

2017.10.04

fun pun clock (フンパンクロック) / designed by Yoko Dobashi

fun pun clock が「2017年度 グッドデザイン賞」を受賞



fun pun clock / ふんぷんくろっく

製品概要

母親の視点で、時計に興味を持った幼児が読みたくなる仕掛けをほどこしたアナログ時計。モンテッソーリ教育専門家のアドバイスによる子どもの理解の進み方や認識方法を参考に、開発段階で試作を幼稚園に持ちこみ改良を重ねたデザインである。12進法と60進法を関連づけ、「ふん」と「ぶん」と交互に変化する単位を商品名とした。

グッドデザイン審査員による評価コメント

子供の理解の仕方や認識力をベースに、デザインの細部に至るまで、子供が自分の力で「時」を理解し、時計を読みたくなるような自主性を育む工夫で構成されている。理解の中心となる秒針を赤くし、書体はもとより文字の大きさや間隔までも子供にとっての読みやすさ、判別しやすさの検証に基づいている。類似品が多い中、開発者の想いと努力により確実な成果を上げている教育効果の高いデザインである。

グッドデザイン受賞サイト

http://prt.nu/0/lemnos_funpunclock

グッドデザイン賞受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2017」に出展

2017年11月1日(水)から東京ミッドタウンで開催される、最新のグッドデザイン全件が集まる受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2017」において、fun pun clock が本年度受賞デザインとして紹介されます。

GOOD DESIGN EXHIBITION 2017

会期：11月1日(水)～11月5日(日)

会場：東京ミッドタウン(東京都港区六本木)

<http://www.g-mark.org/gde2017/>

グッドデザイン賞とは

グッドデザイン賞は、1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を発端とする、日本唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。今日では国内外の多くの企業や団体などが参加する世界的なデザイン賞で、グッドデザイン賞受賞のシンボルである「Gマーク」は、すぐれたデザインを示すシンボルとして広く親しまれています。

<http://www.g-mark.org/>

■ fun pun clock

YD14-08 M

寸法：φ305×d48mm 重量：725g 素材：プライウッド、ガラス 仕様：ステップセコンド 価格：8,000円+税

YD14-08 L

寸法：φ354×d48mm 重量：970g 素材：プライウッド、ガラス 仕様：ステップセコンド 価格：12,000円+税

2017.10.04

fun pun clock (フンパンクロック) / designed by Yoko Dobashi

fun pun clock が「2017年度 グッドデザイン賞」を受賞

Designer Profile

土橋 陽子 / Yoko Dobashi


株式会社イデーに5年間（'97～'02）所属し、定番家具の開発や、「東京デザイナーズブロック2001」の実行委員長、ロンドン・ミラノ・NYで発表されたブランド「SPUTNIK」の立ち上げに関わる。イデーの現行定番家具〈bian chair〉や、授乳時に赤ちゃんを起こさない提灯型led照明〈milk time light〉、1枚の展開図を「曲げて」「差し込んで」「折って」作る〈let's light〉、時計の読めない子が読みたくなるアナログ時計〈fun pun clock〉をデザイン。2012年より「Design life with kids!」インテリアワークショップ主宰。モンテッソーリ教育の視点を生かし、「手を動かしながら、インテリアを作り上げる」ことを心がけ、様々な企業とコラボレーションして、ワークショッププログラム開発に取り組む。また、インテリアライターとして、ウェブマガジン「All About」「レッツエンジョイ東京」にて執筆中。現在は2児の母親として、子供のいる生活空間の探求、手を動かしながら生活を作ることが目下のテーマ。
<http://yokodobashi.com/>



Lemnos

Lemnos は、1966年服部時計店工場精工舎（現セイコークロック株式会社）との取引を開始し、本格的な時計事業を開始しました。自社ブランドとして開発したGANBARA「HOLA」（デザイン：川崎和男）が1989年にグッドデザイン賞やニューヨーククーパーヒューイットミュージアムの永久展示品に選定され、デザインクロックブランドとして大きな一歩をスタートさせました。その後も、渡辺力や安積伸、安積朋子、塚本カナエなど、国内外で活躍する著名なデザイナーとプロジェクトを組み、アート性、デザイン性に富んだ数々の名品を発表。グッドデザイン賞を多数獲得し、国内外で高い評価を得ています。

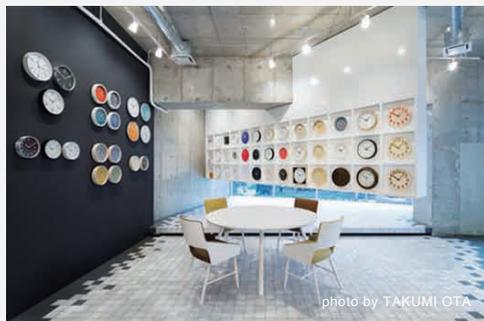
Lemnos のプロダクトは、職人の研ぎ澄まされた手の技によって、ひとつひとつ丁寧につくられています。

素材と対話し、その素材が持つ魅力を最大限に引き出す。その結果、流行に流されることのないデザインが生まれる。

Lemnos は、革新的で、かつ永続的な美しさを提案し続けます。

東京ショールーム・オフィス

〒112-0012 東京都文京区大塚3-7-14 シャノワール文京1F
 10:00 - 18:00 定休日/土・日・祝日 www.lemnos.jp



■ 本件に関するお問い合わせ

株式会社タカタレムノス
 営業企画部・広報担当：菊地

m : press@lemnos.jp

t : 03-5981-8120 f : 03-5981-8365